

Seisei Times No.4

聖星タイムズ APRIL 2018



良き校風をそのままに、 新しい教育にチャレンジ

共学化2年目となる2018年度の新学期がスタートしました。今年度の本校はどのような方向への進化を目指すのか、北協理事長にお話を伺いました。



―4月入学の1年生は合計191名。うち国際特進コースが57名で前年度に引き続き2クラス、国際教養コースは134名4クラスとなりました。この結果をどうご覧になりますか。

北協 昨年度と同様に、大変好調な結果だったと思います。とくに、男子生徒が特進コースで17名、教養コースで40名となり、新2年生の男子63名と合わせ、全校で男子が100名を超えました。当面の目標としている「男子4割」にはまだ達していませんが、だんだんとそれに近づいている状況ですね。

―順調に共学校への移行が進む中で、男子も女子もさらにレベルアップ

していくため、新たな取り組みが必要になってくると思われれます。今年度は、どのような課題にチャレンジしていこうとお考えですか。

北協 まず、2020年度から導入される「高大接続改革」への対応を本格的にスタートさせたいと考えています。この改革によって、大学入試は大きく変わります。従来のペーパーテスト「発勝負」ではなく、学力の三要素〔知識・技能〕〔思考力・判断力・表現力〕〔主体性・協働性〕を踏まえた、多面的・総合的な選抜方法が採用される見通しです。

―とても難しいお話に聞こえますが、本校独自のアクティブ・ラーニングなどをさらに進化させていけば、入試改革にも対応可能ということでしょうか。

北協 そう考えていいと思います。今後は、教科ごとに改革の内容をわかりやすく取りまとめ、それに対応した授業を進めていくことで、入試で求められる能力を身に付けられるようにしていく方針です。それに加えて、ICT(インフォメーション・コミュニケーションテクノロジー)教育に



基づく学習プログラムをまず国語から導入し、総合的な学力向上を図っていきます。

―共学化や教育内容の変化によって、本校ならではの校風が変わってしまふことはないでしょうか。

北協 それは心配ありません。「心の教育」は、これからも本校の柱です。宗教の授業や末広会の活動などに、男子生徒も積極的に参加しており、これは素晴らしいことだと思います。また「先生と生徒の距離が近い」という良風は、ますます顕著になっているのではないのでしょうか(笑)。確かに、入試への対応は今後の大きなテーマです。しかし、高校生活は進学への単なる通過点ではありません。学校行事も含めて、生徒一人ひとりを大切にすべく教育を貫き、温かい雰囲気のある校風を維持していきたいと考えています。

新2年生に聞きました

教えて! 学校のこと

真新しい制服を纏い、本校の門をくぐってから早一年。すっかり学校生活にも慣れた新2年生に直撃インタビュー。「この学校の魅力は何ですか?」



後輩の皆さん、一緒に学校生活を満喫しよう!

体育祭など学校行事がすごく盛り上がる!

先生も先輩もとても気さくで話しやすいよ。

宗教の授業はとても新鮮で心地よい時間です。

洋画を字幕で観る英語の授業もあって楽しい~!

入学式

激励の言葉を贈られ
希望を膨らませる新入生

4月5日、吹奏楽部の歓迎演奏で平成30年度の入学式が始まりました。「みことばの祭儀」では、昨年初めて入学した男子生徒を含む先輩達が登場。新入生と一緒に祈りを捧げ、神聖な儀式を執り行いました。

一人ひとり名前を呼ばれ入学許可を受けた新入生は191名。重信明利学長は聖書の中に書かれたサマリヤ人の例えを挙げ、「見返りを求めず隣人を自分のように愛しなさい」との言葉を贈りました。そして適切な状況判断で異文化にも積極的に関わり、隣人愛の実戦で真の平和を目指す国際人になつてください」とエールを送りました。

北脇保之理事長は、聖星高校の進化する教育プログラムによる学業への期待はもちろん、「高校三年間は、よりよい未来のために力を付ける期間。そのためにもたくさん読書をして、多くの人と接して、自分の世界を拡げ、豊かな心を深めてほしい」と内面を磨く大切さをアドバイスしました。

また来賓の方々からも「聖星の整った環境の中で将来へのビジョンを見つけてほしい」「プロフェッショナルな先生方のもと、勉学はもちろん行事にも積極的に関わり有意義な高校生活を」と温かな言葉を頂きました。

期待と励ましの言葉を受け、新入生を代表した中道あかりさんが「夢や目標に向かい精一杯努力していきます」と力強く誓いの言葉を述べると、会場から大きな拍手が沸き起こりました。



みことばの祭儀



新入生代表による誓いの言葉

新しいポスターは生徒たちが大活躍!

新しい生徒募集用のポスター撮影が3/20・23に行われました。新2年生5人の生徒たちはなかなかのモデルぶり。素敵な笑顔を見せてくれました。



まず最初はプロのヘア・メイクによる髪型のセット(寝癖なおし?)。



イスの上から JUMP! さすが体育会系女子、身軽に跳んでいます。

先輩後輩

浜松聖星高等学校 校長 重信明利



私くらいの年代にありがちな「昔は良かった」的な言い方になりますが、最近の高校生は上級生と下級生との間ではっきりした上下意識がなくなっているような気がします。昔の上級生と言えば下級生に対し、優しさの中にもそれなりの威厳を保っており、下級生も先輩たちには尊敬の念とともに畏怖の意識がありました。部活でも、たとえ理不尽に権威を振りまわす先輩であっても、校内暴力に近い行為を日常平然と行う先輩であっても、下級生はすべてにおいて絶対服従でした。

今では部活の中で少しでも威張っている上級生がいれば、下級生にすぐに嫌われ、生徒間で少しでも心身に苦痛を感じる行動があればすぐに学校全体の問題になってしまいます。結局、上級生は「優しく面倒見のよい先輩」「友達のように話せる先輩」でなければならなくなり、部活内でも「平等」という意味とは少し違う、より「平面」的な関係性に近づいてきています。確かに先輩と後輩の仲が良いことは悪いことではありません。ただ、仲が良いことだけがいいわけでもありません。いじめにつながるような行為は別として、やはり先輩と後輩の間には威厳と畏怖が必要であり、理不尽な威力も意味がないとは言えないのです。

現代における離職率の上昇のすべての原因がこの高校時代の平面的な関係性にあるとは言いませんが、このハラスメントを避けて通れない社会を生き抜いていくためには、この部活内での上下関係はまさしく実践的なキャリア教育として必要ではなかったかと思えます。

希望を持って、未来へ

学校法人 浜松海の星学院 理事長 北脇保之



浜松聖星高等学校は、共学化し、校名変更して2年目を迎えました。幸い2年連続して大勢の新入生を迎えることができ、校内は活気に満ちています。

私たちは世界の大きな変化を見通し、これからの世界を生きていく若い人たちに必要な力をしっかりと育む教育をしたいと考えています。その大きな変化とは、第一にAI(人工知能)をはじめとするテクノロジーの発達、第二に世界が一つのアーリーナのようなグローバル化の進展です。このような変化により、AIが人間の仕事を奪ってしまうのではないかと、世界的な競争の激化は社会の格差をますます大きくし、生活が厳しくなるのではないかと、といった様々な不安が生じています。しかし、いたずらに不安にとらわれることはありません。テクノロジーはそれを良く利用することを考え、グローバル化は地球的な課題の解決の機会を増やすものと考えていけばよいのではないのでしょうか。ただその時、誕生以来最強の力を持つことになった人間が、その力を間違った方向に使わないように制御するための精神性や倫理が不可欠です。

聖星高校は、「国際教養教育」、ICT教育、そしてカトリックに基づく「心の教育」を通して、若い人たちがこれからの世界を、希望を持って生きていくために必要になる力を育みます。キリスト教においては「希望」は「神を切望する力」という特別な意味がありますが、キリスト教徒であるか否かにかかわらず、希望は大切です。



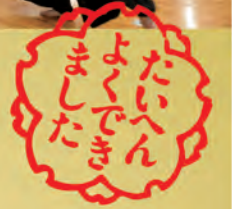
3月17日・18日第4回東海高等学校
 校選抜大会(於…三重県営サン
 アリーナ)で、浜松聖星高校剣道部が
 女子団体で準優勝。3月26日、29日
 の第27回全国高等学校剣道選抜大
 会(於…愛知県春日井市総合体育
 館)に出演し、見事ベスト16に入賞。
 また3年の鈴木結香さんが優秀選手
 に選ばれました。

チームワークが大きな力に

が、チームのために責任を果たしたい
 という一人ひとりの想いが強ければ強
 いほど団体力が何倍にもなるんです」
 と選手たちを評価。「プレッシャーの
 大きな代表戦にも、自ら私に闘わせ
 てくださいます」と誇りに思う選手が
 揃っていることを誇りに思うと、選
 手たちの成長を称えます。

以前から礼儀作法を大切にしてい
 る浜松聖星高校剣道部ですが、より
 一層選手たちが内面的に成長したと
 感じたターニングポイントは、茨城県
 立守谷高等学校剣道部を訪ねたと
 きのこと。常に全国レベルを誇る先方
 の選手たちの素晴らしい礼儀作法や
 気遣いを間近に感じたことで、「自分
 たちももっと人間性を磨きたい」と大
 きな刺激を受けたようです。

「常日頃、先生方が指導してくださ
 り、上池自動車学校実業団の皆さん
 や卒業生が手を交えてくださること
 で鍛えてもらっている」と感謝を忘れ
 ない剣道部の選手たち。黒川先生も
 「今後は剣道が強くなることはもち
 ろん、自分自身で考え、行動できる自
 立した生徒たちに育ってもらいたい」
 と、技術と共に内面を磨く大切さを
 強調。生徒たちの更なる成長を目標
 にしていました。



剣道部

全国大会ベスト16入賞!!

これからも応援
 よろしくお願いします!



黒川先生



ブラッドリー先生の 間違いやすい日常英会話 ★Lesson 4★

I was in an accident.

事故にあってしまった。

OK!
GOOD!



I had an accident.

(おしっこやうんちを)
漏らしてしまった。

NO!

事故にあったはずが、とんでもないことに!

万が一事故にあってしまったら、一度周りの人に連絡をしたい、または警察に電話をする報告がしたいですね。しかし、もしこんな場面で「I had an accident.」と言ってしまったら、大変な誤解を招いてしまうかもしれません。日本語では事故は「遭う」もの。言い換えると「好ましくないものに出会う」というニュアンスに、無意識に捉まえていますよね。対して英語では、「accident」(事故)は「was in」(さなかに居た)、つまり日本語で言うところの「巻き込まれた」という風に捉まえるのです。英語と日本語の、微妙なものごとの捉まえ方と表現の違いが、このように思わぬ勘違いを生んでしまうので、ぜひ、accident = was in をセットで覚えましょう!



Please come! **ベリタスプラザ(文化祭) 6/8(金), 9(土)**



開催に向けて準備開始!
「Global」をテーマに魅力発信

学校の一大イベントのひとつ「ベリタスプラザ」を楽しみにしている人も多くはない。6月の開催を前に、今年のテーマが決まりました。平成30年度は「Global」。

「本校の大きな特徴は国際的プログラムです。そこで今回はグローバルをテーマに、一般の方々に世界のさまざまな国を知ってもらいたいと思っております」と生徒会の皆さんが本番に向けた意気込みを話してくれました。

HR展ではクラスごとに国を決め、雰囲気にあわせて装飾をしたり、自由とその国のことを発表するとのこと。きつと校内を一周すれば、世界旅行した気分になれるのではないのでしょうか。

またもうひとつの目玉として「聖星

style」。少し昨年と趣向を変えて写真展にしてみようという案が出ているそう。「校内の雰囲気や毎日の生徒たちの様子が分かる写真を生徒みんなに公募して、いろんな視点から学校内を紹介したいと思っています」。さらに、今年から手書きになった生徒会作成の学校新聞(毎月発行)の原画も披露する予定。「毎回担当者が工夫を凝らして作成している自信作です。こまかな情報も網羅されていて学校のことを知ってもらうのに最適です。ぜひご覧ください」とアピールします。

昨年から男子生徒が加わり、男女が協力し合って作り上げるベリタスプラザも二回目となります。新しい感性が加わり、これまでに無い発見も多しはず。「これから力を合わせて準備していくので、皆さんお誘い合わせていらしてください」と、多くの方々の来校を心待ちにしています。



卒業式

3月1日、卒業式が行われました。卒業生は青いストラ(肩にかける帯)を身に着け、ミッションスクールの員として堂々とした表情で式に参加しました。式は厳かな雰囲気の中、聖歌の優しい歌声が会場を温かく包みました。卒業生から担任・学年担当の先生への親しみ深いお礼のパフォーマンスでは大いに盛り上がり、121名の卒業生はそれぞれの道に向けて本校を巣立っていきました。



「第15回 成人を祝う集い」が開催されました。

平成30年1月7日(日)、晴天に恵まれた当日、二十歳を迎えた第58回卒業生85名が、華やかに艶やかに、すてきな着物姿で母校に集まり、「成人を祝う集い」が行われました。前年10月からこの日のために、58回生クラス代表と28回当番回生が中心となり同窓会企画部、執行部そして有志の先輩方の協力を得て、準備を進めてまいりました。

58回生手作りのBGMで会場入り、懐かしい仲間たちと笑顔での再会です。式典1部、神父様から成人への祝福や理事長、校長、同窓会長からお祝いのご言葉をいただき、2部開始のスライド上映では、58回生代表が編集した思い出深い在校中の写真を、全員で楽しみました。



第15回成人を祝う集い 平成30年1月7日(日)

その後、クラス毎の集合写真撮影のあと、懐かしの先生を交えての懇親会で楽しいひと時を過ごしました。

なお当日新成人から寄せられた寄付金は、末広会でご縁の特別養護老人ホーム「三幸の園」へ1月26日同窓会執行部が、新成人の代行としてお届けいたしました。

本年も「成人を祝う集い」を開催できたことに感謝いたします。ご協力いただきましたみなさま、ありがとうございました。

Campus Calendar キャンパスカレンダー

4月

- 5日(木) 入学式
- 11日(水) 創立記念式典
- 17日(火) 遠足
- 21日(土) 進路説明会(2・3年)

5月

- 29日(火) マリア祭



6月

- 8日(金) ベリタスプラザ(文化祭) [校内発表]
- 9日(土) ベリタスプラザ(文化祭) [一般公開]
- 19日(火) 薬学講座
- 29日(金) 授業参観・英語スピーチコンテスト

7月

- 13日(金) スポーツデー
- 24日(火) アメリカ海外研修出発(～8/7) [希望者]
- 29日(日) 夏のオープンスクール

8月

- 20日(月) エンパワメントプログラム(～8/24)(1年)
- 25日(土) 夏のオープンスクール

9月

- 1日(土) 1年生保護者対象進路説明会